



C O N T E N T S

利用する

冬休みの開館
カレンダー

本を読む

今年話題になった本

イベント・その他

One Night Lib. - 図書館で過ごす、音楽と本の楽しい一夜 -
読書会 コンシェルジュのつぶやき(6) ライム♥トーク

One Night Lib.

図書館で過ごす、音楽と本の楽しい一夜

図書館にクリスマスがやって来ました！クリスマス・デコレーションに加え、いろいろな企画が盛りだくさんです。1階・2階交流ゾーンで開催中です。

<シーズンを通しての企画>

- ★アドベントカレンダー
(図書の展示・PCルーム前)
- ★図書館川柳選手権 2014
- ★図書購入リクエスト
(クリスマス Ver.)
- ★プレゼント
(クリスマス Ver.のしおり、ブックカバー)



<音楽と本のタベ>

日時：12月19日(金)

17:30~19:00

場所：1階ラーニング commons

- ★クイズ大会
- ★ビブリオトーク
- ★ミニコンサート

美女と野獣、アナと雪の女王、
クリスマスメドレー など

- クイズ大会は賞品あり。ビブリオトークは出場者を募集中。大好きな本の魅力を、3分間で伝えてみましょう。ミニコンサートは、吹奏楽部の学生によるサクソフォーン四重奏です。
- 会場は、ペットボトルの持ち込みOK、途中入退場自由です。

- 冬休み中は開館時間に変更になります。ご注意ください。
冬休みの長期貸出は行いません。12月13日に借りると、返却期限は来年の1月5日になります。

冬休み中の開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
12月	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	1月

9:00~17:00 休館

- 12月24~26日は授業なしのため17時閉館
- 12月27日~1月4日は年末年始のため休館
- 1月16日は大学が臨時休業のため17時閉館

このほか、読書会、上映会なども開催予定です。いろいろなイベントに参加して、クリスマスを満喫しましょう！ (中村)

読書会のお知らせ

11月26日の第二回羊町倶楽部(読書会)は、『嫌われる勇気』(岸見一郎ほか)を題材として、「自己啓発と自身の生活について」をテーマに開催しました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

12月はクリスマスイベントの一つとして開催します。興味や関心のある方、奮ってご参加ください。(田代)

12月「羊町倶楽部」読書会

期日：12月19日(金)12:00~12:30

場所：図書館1F ラーニング commons

題材：東浩紀『弱いつながら』

*参加希望の方は、図書館カウンターへお申し込みください。題材をお渡しします。



今年話題になった本 2014

リチャード・プレストン

『ホット・ゾーン』 上・下巻

今年世界中を恐怖に陥れたエボラウィルスなど、“ホット”なウィルスの恐ろしさを取材したノンフィクションです。今から 20 年前の 1994 年に刊行された本ですが、今年の大流行で復刊されました。誰もが他人事のように思っていますが、もしこんなことが身近で起こったら大パニック間違いなし。静かに忍び寄る目に見えない悪魔を相手に、人間にはなすすべがないのでしょうか。(あず)

本館 1 階 ひとたな (自然科学)



てい先生 『ほお...ここがちきゅうのほいくえんか』

タイトルは、病気明けの男の子が久しぶりに保育園に来た時に発した言葉です。男性保育士が、園児とのやり取りを 2012 年から Twitter に呟いていたものが今年になって「おもしろい」と話題になり、9 月に書籍化されました。好きな子の気を引こうと奮闘する姿や、タイトルのような園児ならではの視点で発せられる言葉に心癒されるのは勿論、何事にも疑うことなく向き合う子供の姿勢から、本当の優しさや強さとは何かを考えさせてくれます。(富室)

和田 竜

『村上海賊の娘』

2014 年本屋大賞を受賞した人気作です。瀬戸内海の島を城にする村上水軍の当主、村上武吉の二十歳の娘の景(きょう)が、信長に追い詰められ窮地に陥った本願寺を救うため、戦いに身を投じていく姿を描いた長編歴史小説です。小説の主人公は醜女で悍婦という設定は珍しく、おもしろいと思います。(鄭)

本館 1 階 ひとたな (人文科学)



村岡恵理

『アンのゆりかご』

—村岡花子の生涯—

NHK 朝の連続テレビ小説で放送された「花子とアン」の原作となった本です。『赤毛のアン』を翻訳した村岡花子さんの一生を孫の恵理さんが執筆。朝ドラと比較しながら読むのもおもしろそうですね。(中村)

ライムのぼんやりトーク

コンシェルジュのつぶやき (6)

12 月になり、寒さが厳しくなってきました。2014 年ももうすぐで終わりです。皆さまは、この一年をどう過ごされましたか。来年をどう過ごされるご予定ですか。

冬になると炬燵が恋しいですね。炬燵に入りながらみかんやアイスはいいものです。図書館コンシェルジュとしては、炬燵に入りながらの読書をおすすめします。オススメの本は、D・カーネギー『道は開ける』です。そこの方、お悩みはございませんか。悩みだけで溺れそうですか。感謝してほしいのに誰も感謝してくれないことはありませんか。そんなときにこの本をどうぞ。この 1 年を振り返るいい機会にもなるし、これからの 1 年を考えるのにも良い本だと思います。カーネギーはこの本を繰り返し読むことを推奨しています。繰り返し読んでみてください。(高見)



みいなちゃん

今年もあと少し。1 年を振り返る時期よ。けんさくくん、印象に残ってる出来事は？



けんさくくん

(えー、めんどくさい…)僕は科学者志望だからね、日本人のノーベル賞受賞かな。受賞するような人たちの研究に対する執念って、すごいなぁと思うよ。世の中の進歩って、こういう人たちに支えられているんだよね。



みいなちゃん

おかげでクリスマスのイルミネーションもきれいだし。



ライム博士

STAP 細胞も話題になったね。科学技術の世界の競争の厳しさや論文作成のマナーなど、我々にとっても無関心でいられない大きな問題だった。



けんさくくん

そうだ、STAP 細胞の発見はどうなったんだ！！



みいなちゃん

世の中に出ると大変なことが多いのねえ。社会人や研究者になるまでに、身に付けておかないといけない基本的なこと、大事なことがあるんですね。